

【意見】

勉強のために沼田市立図書館の読書室を利用している沼田高校の生徒です。

冷房の設定温度を高め設定しているせいか、館内がとても暑く感じます。汗が多量に出てくるほどです。

汗をかいていれば体の水分が失われるので水分補給をしたいところですが、館内飲食禁止なので出来ません。そのせいで脱水症状になりかけて、勉強どころではなくなりました。挙句の果てには鼻血も出てしまいました。つまりは熱中症です。快適に勉強出来る空間を求めて図書館を利用しているので大変困ります。市民が快適に利用するための公共機関がこのような状態で良いのでしょうか。

クールビズで冷房の温度を高め設定する必要があることは承知していますが、設定温度を高くする代わりにせめて飲み物の持ち込みは出来るようにして頂きたいです。

現在の図書館の環境では、熱中症で倒れる人が続々と出てもおかしくありません。私以外の熱中症患者が1人でも出る前に早急な対応をお願いします。

男性10代：市内在住

【回答】

まずは、熱中症になってしまったことに対しまして、心よりお詫び申し上げます。

ご意見のとおり、図書館では地球温暖化の原因となるCO2削減のために、冷房の設定温度を28℃に設定しています。そのため、高校の試験前や試験中などは読書室の利用者が増え、大変混み合うために暑く感じるかと思いますが、何とぞご理解くださるようお願いいたします。

また、館内での飲食については、飲み物のこぼしや水滴などで館内資料が濡れると困まりますので、図書館のルールで禁止しております。誠に恐れ入りますが、水分を補給する場合は、ペットボトルなど蓋のできる飲み物をご持参の上、館内の廊下やホールなどをお願いいたします。

ゴミを持ち帰るなどマナーを守りながら、体調に気を付け、今後もご利用くださるようお願いいたします。

担当：教育部図書館奉仕係